



市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

こんにちは

日本共産党

京都から 戦争法 廃止の 憲法市長を!!

来年2月
市長選挙

本田久美子さんが出馬表明!!

子ども・働くもの・母親の
願いに寄りそう行動派。



地下鉄醍醐駅前でも西野市議と街頭から訴え!!

市長選挙に立候補を表明されている本田久美子さんが、市内各地を挨拶の宣伝に回られました。伏見区は地下鉄醍醐駅前と東大手筋で宣伝をされました。醍醐駅前では、本田さんを一目見ようと地域の方が集まってこられ、「初めて見たけど社民党の土井たか子さんに似てる」「戦争法反対は支持できる」などの好意的な声が多く寄せられました。

西野さち子市議は「戦争法に反対する市長が必要です。今の市長は戦争法について一言も答弁しないどころか、憲法改正の立場です。まち壊しだけで

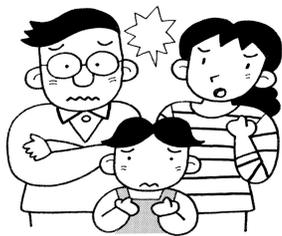
議会報告

日本共産党の 主な代表質問 (本会議)

マイナンバー制度について

なく、有無を言わず国民保険料などの滞納者には差押えを強行しています。市民のくらしの声に心を寄せる市長を誕生させましょう」と訴えました。

本田さんは34年間の教師経験から「教え子を再び戦場に送らない。これが一番大切に行っている原点です」と立候補の決意と意思を訴えられました。



この制度の導入にあたっての税金支出は、国全体で3400億円を超える巨額の支出であり、本市だけでも16億円となっています。東京商工リサーチの6月・7月の調査によると、マイナンバー制度への対応ができた企業は、わずか2.8%にとどまっているのが実態です。市民の個人情報を守り、情報漏えいの危険性を回避するためにも、また、事業者や市民に対する多大な負担の押し付けをやめさせるためにも、マイナンバー制度の実施は中止するよう、国に対して求めるべきと考えます。

副市長答弁 「『市民しんぶん』なども活用した周知を行い、行政手続の簡素化やオンライン化など、市民のみなさんにメリットを実感いただける取組をすすめていく。」

介護保険制度について

介護保険料が今期基準額で6000円を超えました。高齢者の生活実態は深刻です。財源を一般会計から繰り入れて介護保険料の引き下げを行うべきです。要支援1・2の人へのサービスを安価なサービスに置き換えるのではなく、現行サービスを維持した上で、さらに充実させることを求めます。

市長答弁 「自己負担割合の引き上げについては、高額サービス費の支給で、高齢者に十分配慮されている。要支援の方への従来のヘルパー派遣やデイサービスに加え、日常の困りごとに対応する多様な生活支援サービスを提供するためのもの。必要な方に必要なサービスが届く仕組み。

円滑な導入に向け取り組む。」と高齢者の声を聴く耳を持たない姿勢が明らかになりました。

